

平塚市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム 2026

1 目的

平塚市住宅耐震化緊急促進アクションプログラムは、平塚市耐震改修促進計画（第3期計画）の中で、住宅耐震化を促進させるための施策として位置付けています。

令和8年度の平塚市住宅耐震化緊急促進アクションプログラムをここに定め、次のとおり木造戸建て住宅の耐震化促進に取り組みます。

2 取組内容・目標・実績

| 計<br>画 | 令和8年度取組内容  | 令和8年度目標   |
|--------|--|---|
|        | <p><b>【財政的支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>）住宅の耐震診断に対する全額補助を実施</li> <li>）住宅の耐震改修設計費、改修工事費に対する一部補助を実施</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震診断補助戸数 : 60件</li> <li>・耐震改修設計補助戸数 : 28件</li> <li>・耐震改修工事補助戸数 : 31件</li> <li>・防火耐震工事補助戸数 : 1件</li> <li>・建替え除却工事補助戸数 : 4件</li> </ul>  |
|        | <p><b>【普及啓発等】</b></p>  | <p>前年度までの実績(過去3年分)</p>  |
|        | <ul style="list-style-type: none"> <li>）所有者等に対して直接的に耐震化を促す取組                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・約4,400件の啓発文書を所有者等に送付（複数棟の所有者は1つの啓発文書に集約）</li> </ul> </li> <li>）耐震診断を支援した住宅に対して耐震改修を促す取組                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震性が低い住宅へ勧告し、耐震改修を促す</li> </ul> </li> <li>）耐震改修事業者等への技術力向上を図る取組及び住宅所有者からの耐震改修事業者等への接触が容易になる取組                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修事業者に対する耐震改修工法等に係る木造住宅耐震改修実務セミナーを年1回実施</li> <li>・耐震改修施工者リストの作成及び公表等を実施</li> </ul> </li> <li>）耐震化の必要性に係る周知・普及                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅耐震相談会を年8回実施</li> <li>・リーフレットにより制度概要等の周知を実施</li> <li>・防災イベント等にて制度概要等の周知を実施</li> <li>・LINEを活用して制度概要等の周知を実施</li> </ul> </li> </ul> | <p>令和7年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震診断補助戸数 : 92件</li> <li>・耐震改修設計補助戸数 : 44件</li> <li>・耐震改修工事補助戸数 : 47件</li> <li>・防火耐震工事補助戸数 : 0件</li> <li>・建替え除却工事補助戸数 : 2件</li> </ul> <p>令和6年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震診断補助戸数 : 125件</li> <li>・耐震改修設計補助戸数 : 62件</li> <li>・耐震改修工事補助戸数 : 40件</li> <li>・防火耐震工事補助戸数 : 0件</li> <li>・建替え除却工事補助戸数 : 4件</li> </ul> <p>令和5年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震診断補助戸数 : 100件</li> <li>・耐震改修設計補助戸数 : 23件</li> <li>・耐震改修工事補助戸数 : 21件</li> <li>・防火耐震工事補助戸数 : 0件</li> <li>・建替え除却工事補助戸数 : 4件</li> </ul> |
|        | <p><b>【その他】</b></p> <p>「令和12年度までに耐震性が不十分な住宅をおおむね解消する」という目標に向けた管理値として、令和7年度末の耐震化率の算出・公表を行う。</p>   |   |

| 自己評価 | 前年度(令和7年度)の取組実績   | 前年度(令和7年度)の課題  |
|------|---|--|
|      | <p><b>【財政的支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>）住宅の耐震診断費に対する全額補助を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅の耐震診断の補助を92件実施した。(内9件は一部補助)</li> </ul> </li> <li>）住宅の耐震改修設計費、改修工事費等に対する一部補助を実施(工事費については補助限度額を時限措置で引き上げ(令和7年度まで)) <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅の耐震改修設計の補助を44件、耐震改修工事の補助を47件及び建替え除却工事の補助を2件実施した。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【普及啓発等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>）所有者等に対して直接的に耐震化を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修工事費の補助限度額の引上げ(令和7年度までの時限措置)により、平塚市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム取組方針で計画していた、約3,300件(令和7年度分)の送付を取りやめ、代わりに市内旧耐震基準の戸建住宅所有者に9,809件の啓発文書を所有者等へ送付した。</li> <li>(内664件は一定期間経過しても耐震改修を行っていない所有者)</li> </ul> </li> <li>）耐震診断を支援した住宅に対して耐震改修を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震診断の結果、耐震性が低い住宅に対して、勧告文を84件送付した。</li> <li>・耐震改修設計を実施した者に対する耐震改修工事への啓発として、啓発文書を73件送付した。</li> <li>・耐震診断を実施した者に対する耐震改修設計への啓発として、啓発文書を591件送付した。</li> </ul> </li> <li>）耐震改修事業者等への技術力向上を図る取組及び住宅所有者からの耐震改修事業者等への接触が容易になる取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造住宅耐震改修実務セミナーを開催した。</li> <li>・耐震改修施工者リストを作成し、ホームページに掲載した。</li> </ul> </li> <li>）耐震化の必要性に係る周知 <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅耐震相談会を実施し、耐震化の必要性、補助制度の周知を図った。(7回)</li> <li>・広報紙及び自治回覧等により補助制度を周知した。</li> <li>・LINEを活用して制度概要等の周知をした。</li> </ul> </li> </ul> | <p>工事の申請件数が増加し、耐震診断技術者1人当たりの負担が増大したため、旧耐震基準建築物所有者から、補助利用の依頼があっても、耐震診断技術者が年度内に業務を行えず、申請を次年度以降に検討するといった案件が生じた。</p> <p><b>改善策</b></p> <p>年度内業務実施の為に申請函書の省略や、審査の効率化等を行う。</p> |